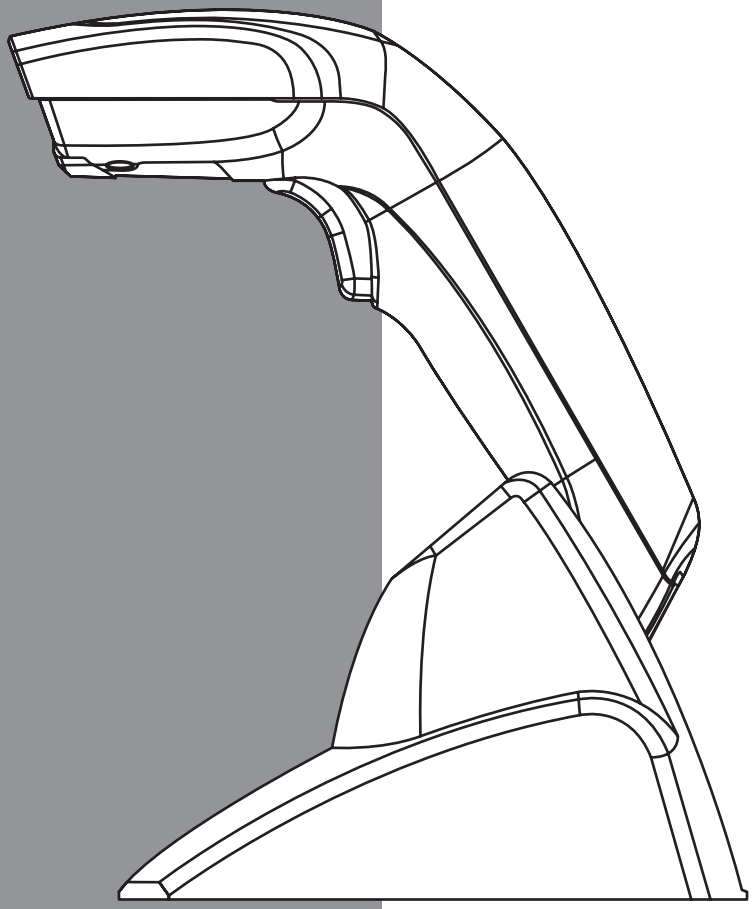
CCD プレゼンテーションスキャナ

HERON

＜ヘロン＞-D130

取扱説明書 Ver1.00



IDEC DATALOGIC株式会社

はじめに

このたびは CCD プレゼンテーションスキャナ HERON（ヘロン）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書では HERON（ヘロン）の操作方法と外部機器との接続に基づく内容を記載しておりますので、必ずご一読いただきますようにお願いします。なお、バーコードによる内部パラメータの設定方法は、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」に記載していますので、そちらを参照して下さい。

ご注意

（1）本書の内容の全部または一部を無断で転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
（3）本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り記載漏れなどお気付きのことがございましたら巻末記載の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願いいたします。
（4）運用した結果の影響については（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承下さい。
梱包内容
製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱をして、以下のものがそろっているか確認をして下さい。
もし、不足・破損等がありましたら、ご購入先の販売店、もしくは巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

1.	HERON 本体	1
2.	HERON 取扱説明書	1
3.	ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート	1 ＊

＊（通常、複数台をご購入の際は 1 セット分のみ同梱しています。複数部をご希望の際は、ご注文時にお申し付け下さい。）

表記について

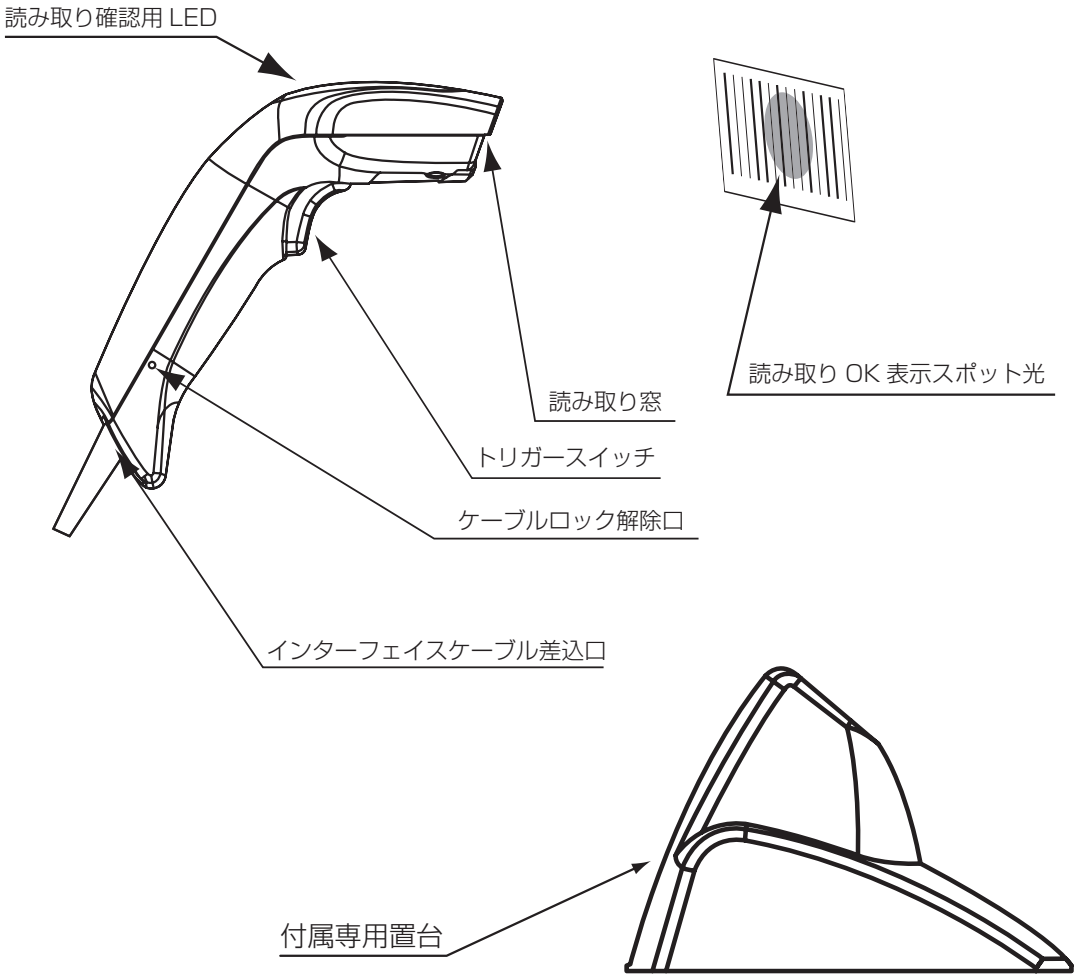
本書では、バーコードリーダを正しくお使い頂くための重要な情報について以下の様な記号を用いています。

機器の破損や不具合の原因となる可能性がある事柄

目次

1．　各部の名称・・・

1. 各部の名称



2. HERON(ヘロン) の特長

HERON(ヘロン) は手持ち式 CCD リーダでのバーコード読み取りと専用置台に取り付けることにより、ハンドフリーでの読み取りが可能なプレゼンテーション CCD スキャナです。このスキャナは受光部に CCD センサーを使用しながら最大読み取り距離 270mm(細バー 0.5mm の時) という読み取り性能を発揮して、その他に、

- 可動部品が無いので優れた耐落下衝撃を発揮
- ケーブル交換で USB/RS232/ キーボードウエッジ / ペン出力の選択が可能
- 読み取り完了時には、緑色のスポット光が点灯しますので、ブザー音が聞こえない場合でも、簡単に動作状態を確認できます。
- 専用置台に取り付けると自動的に自動読み取りモードに切り替わるので、設定等の操作が不要

という特長を有しています。

3. 型番一覧とアクセサリ

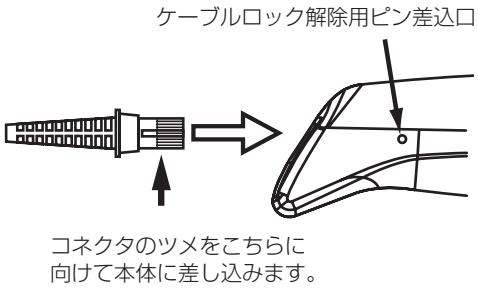
型式	仕様
HERON-D130 SB3570	小型 CCD ガンスキャナ、マルチインターフェイスタイプ

型式	仕様
UL310-0515	専用 AC アダプタ（AC110V-240V 用）
Metal Plate	HERON 読み取りスタンド専用メタルプレート
CAB-320	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 オスストレートケーブル
CAB-321	PS/2 キーボードウエッジ Y 字ケーブル PS/2 ミニ DIN コストレートケーブル
CAB-321-SH1738	PS/2 ノートブック PC 用キーボードウエッジ PS/2 ミニ DIN ストレートケーブル
CAB-323	ペンエミュレーション出力ケーブル D-sub9 オスストレートケーブル
CAB-327	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メスストレートケーブル
CAB-328	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 メスストレートケーブル
CAB-350	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メスストレートケーブル (電源ピン有り)
CAB-364	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 オスカールケーブル
CAB-365	PS/2 キーボードウエッジ Y 字ケーブル PS/2 ミニ DIN カールケーブル
CAB-362	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub9 メスカールケーブル
CAB-363	RS232 インターフェイス用ケーブル D-sub25 メスカールケーブル
CAB-409	RS232 インターフェイス -C-BOX 200 用クロスケーブル
CAB-412	USB-TYPE A インターフェイス用ストレートケーブル
CAB-426	USB-TYPE A インターフェイス用ストレートケーブル (電源ピン有り)

4. セットアップ方法 (RS232 インターフェイスの場合)

1. HERON(ヘロン) とインターフェイス
ケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体
後部の差込口にケーブルのコネクタ部を
“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)

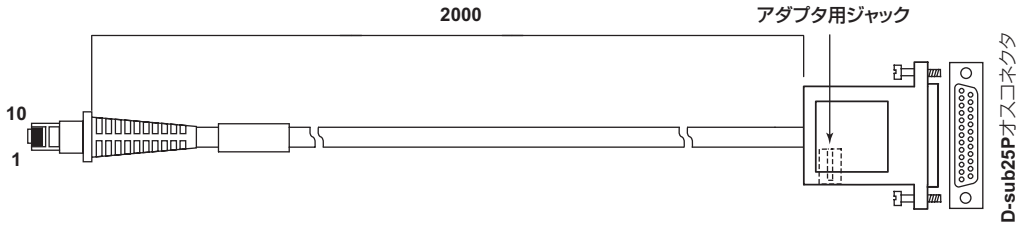


注意　コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルの出力側コネクタと接続機器のコネクタの形状・配線が正しくなっているか次頁ピンアサインを確認して、機器と接続します。

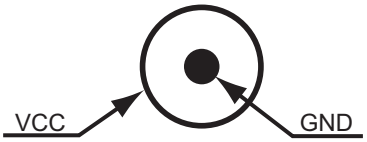
注意　必ず接続機器の電源を OFF にしてから、接続を行って下さい。

● CAB320



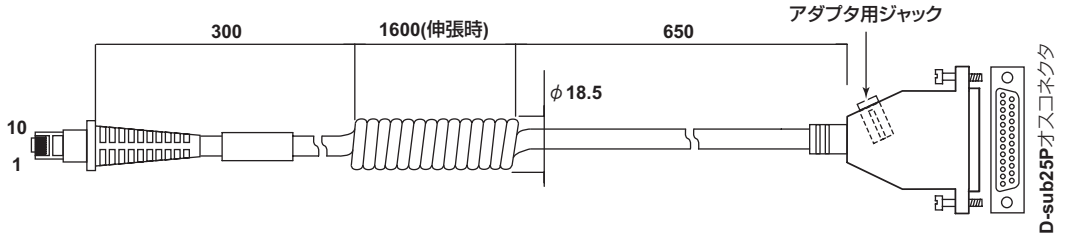
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



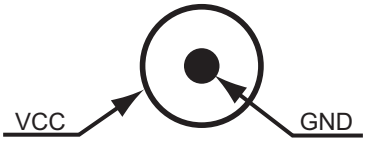
（＊）アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB364



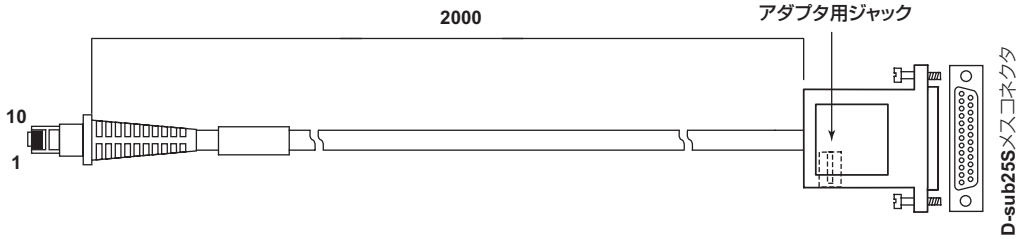
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



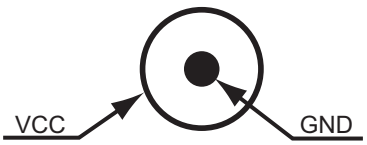
（＊）アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB328



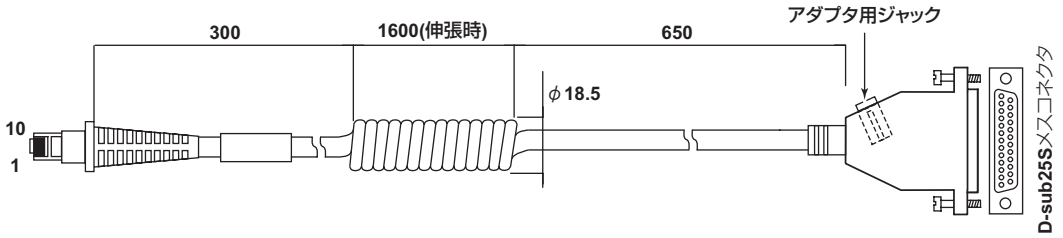
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



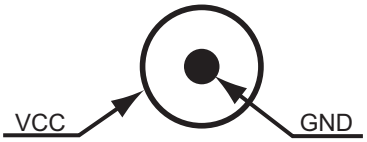
（＊）アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB363



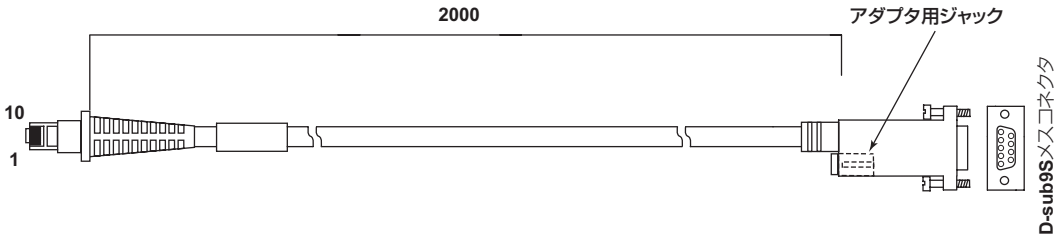
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8～24	N.C.		未接続
25	VCC（*）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



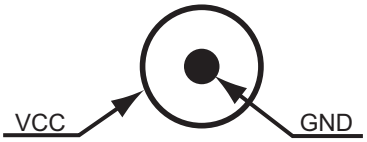
（*）アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB327

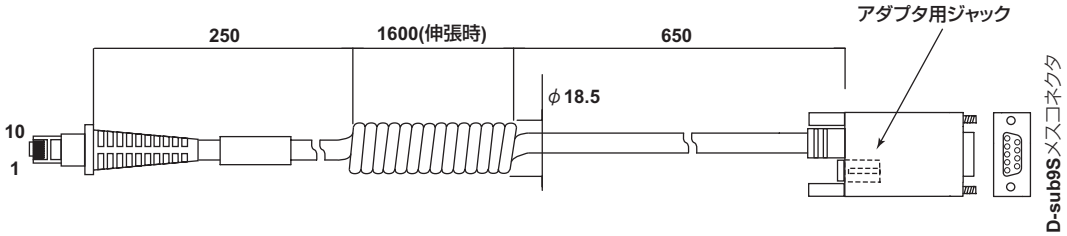


ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	N.C.		未接続

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

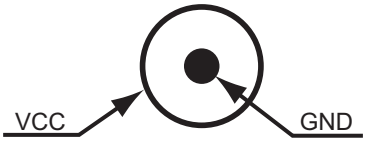


● CAB362

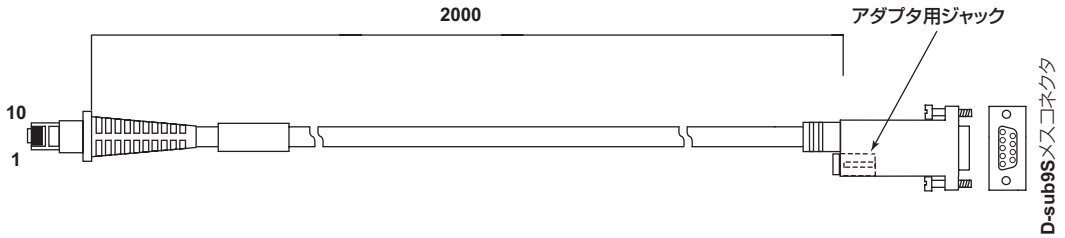


ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	N.C.		未接続

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

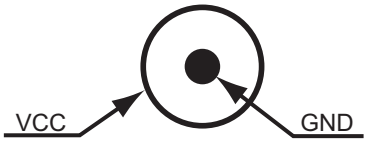


● CAB350



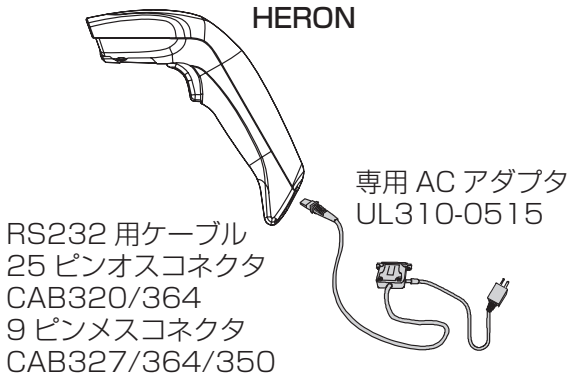
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン



（＊）アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

3. 接続機器からスキャナへ電源供給がない場合や供給される電源容量が足りない場合には、HERON（ヘロン）の D-sub コネクタカバーにある、AC アダプタ用ジャックに別売の専用 AC アダプタ (UL310-0515) を接続します。



⚠ 注意

電源投入時に HERON（ヘロン）の低音ブザーが " ププププ " と 4 回鳴ることを確認して下さい。もしブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は HERON（ヘロン）の動作に問題がありますので「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

4. 以下のバーコードを読み取ると RS232 インターフェイスでの通信が可能となりますので、使用するインターフェイスに応じたパラメータをバーコードメニューシートのバーコードを使って設定を行って下さい。

⚠ 注意

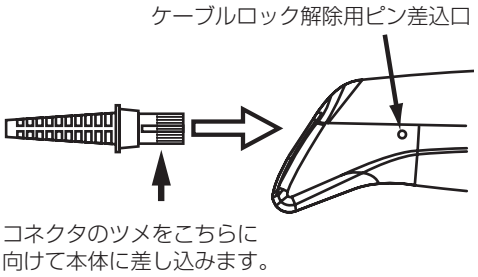
初期設定値は「12. 初期設定について」の章を参照して下さい。また、設定変更する場合には、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を使用して下さい。

5. 接続機器の電源を ON にして、実際にバーコードの読み取りを行い、読み取りデータが正常に接続機器へ送信されるか確認をします。

⚠ 注意　正常に読み取りデータが送信されない場合は、「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

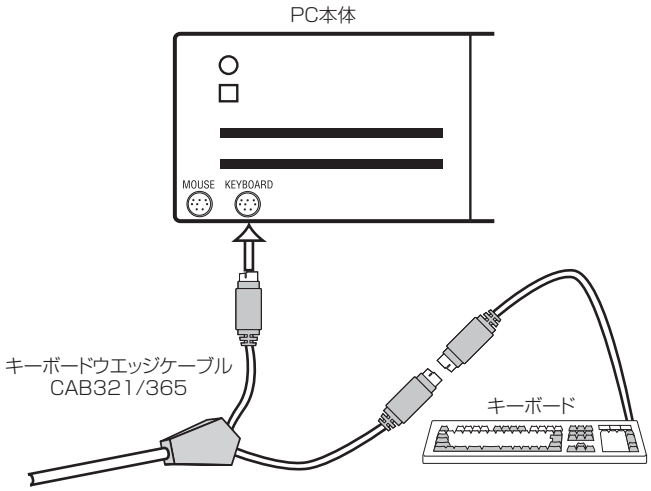
5. セットアップ方法 (PS/2 インターフェイスの場合)

1. HERON（ヘロン）とインターフェイス
ケーブルを接続します。
(接続はジャック式となっていますので、本体
後部の差込口にケーブルのコネクタ部を
“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)



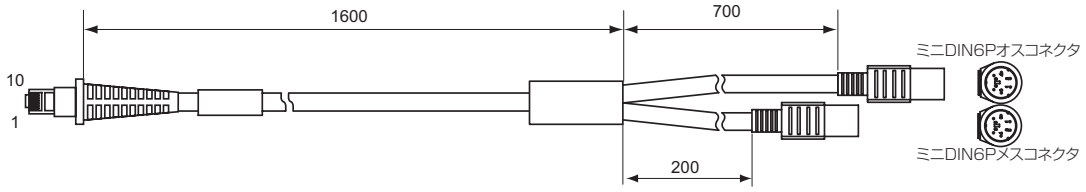
注意
コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. 以下の図の様にケーブルのオス側のコネクタを PC 本体のコネクタに接続して、もう一方のメス側のコネクタをキーボードケーブルの先端のコネクタに接続します。
(ノートブック用ケーブルの場合には、ケーブルのコネクタを PC 本体の PS/2 ポートに接続します。)



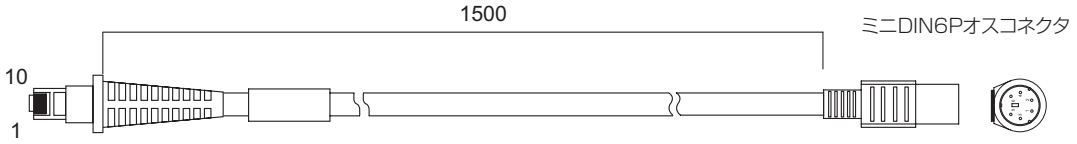
注意
- ケーブルの接続時は PC の電源を OFF にした状態で接続を行ってください。PC の電源が ON のまま、ケーブルの接続を行うと、通信が不安定になり HERON（ヘロン）から送信されるデータが PC に入力できない場合もあります。
- PC の電源投入時に HERON（ヘロン）の低音ブザーが“ププププ”と 4 回鳴ることを確認して下さい。
- ブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は HERON（ヘロン）の動作に問題がありますので「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

● CAB321



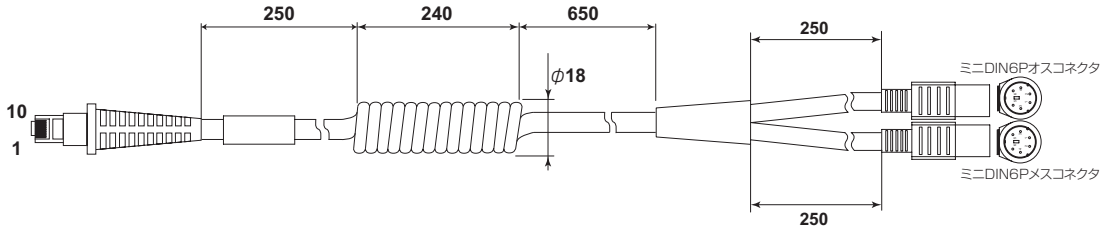
ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

● CAB321 SH1738



ミニ DIN6P オスコネクタ	
ピン No.	信号名
1	DATA_OUT
2	N.C.
3	GND
4	VCC
5	N.C.
6	CLK_OUT

● CAB365



ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

3. PC の電源を ON にして、接続機種に応じた以下のバーコードを読み取ると PS/2 インターフェイスでの使用が可能な設定となります。

PS/2 インターフェイスの設定

●デスクトップ用

●ノートブック用

キーボード言語の設定

●日本語キーボード

●英語キーボード

4. PC を再起動してから、使用するアプリケーションで実際に読み取ったバーコードデータが正しく表示されるか、キーボードから入力するデータが正しく表示されるか確認をします。もし、上記の設定で読み取りデータが正しく表示されない場合には、以下のバーコード設定を読ませて、正しく表示されるか確認して下さい。

注意

PC を再起動せずに HERON（ヘロン）を使用した場合、PC の機種によっては正しくデータが入力されない場合がありますので、必ず再起動をしてから HERON（ヘロン）を使用して下さい。

PS/2 インターフェイスの設定

●デスクトップ用 (ALT モード)

●ノートブック用 (ALT モード)

● PS/2 インターフェイスでご使用の場合の注意事項

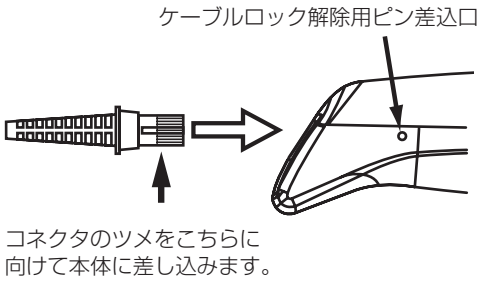
注意

PS/2 インターフェイスでは PC の機種によって、正しく設定をしても HERON（ヘロン）の読み取りデータが PC に入力できない場合があります。その場合は「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

6. セットアップ方法 (USB インターフェイスの場合)

1. HERON（ヘロン）とインターフェイスケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体後部の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)



注意

コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルのコネクタを PC 本体の USB コネクタに接続すると、HERON（ヘロン）の上部の緑色 LED が点滅して、PC のプラグアンドプレイ機能が起動します。PC での認識が完了すると HERON（ヘロン）の低音ブザーが“ププププ”と 4 回鳴り、バーコードの読み取りが可能となります。

注意

・WINDOWS NT/2000/XP については上記の手順にて自動的にドライバーソフトが認識されますが、WINDOWS 98SE についてはシステムのインストールディスクが必要となりますので、注意して下さい。

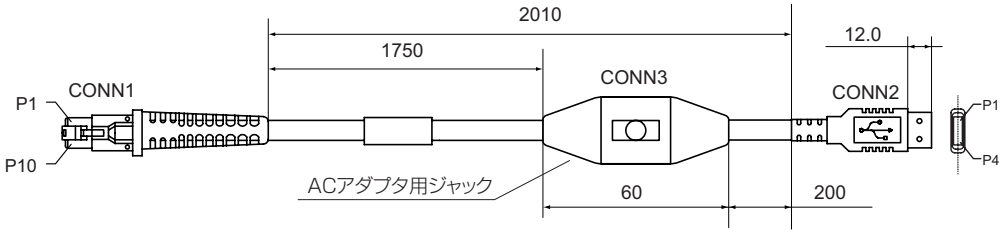
・PC が認識できない場合には HERON（ヘロン）の上部の緑色 LED が点滅状態のままとなり、バーコードの読み取りもできない状態となります。

USB キーボードインターフェイスの設定

●標準モード

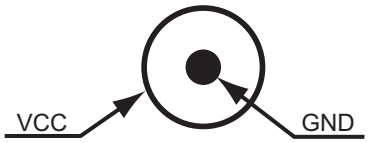
● ALT モード

● CAB412

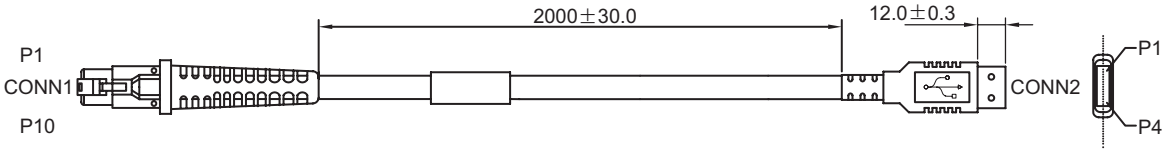


CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D −
3	D +
4	GND

アダプタ用ジャックピンアサイン



● CAB426

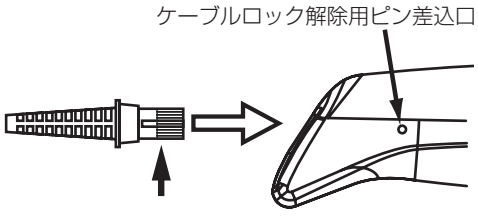


CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D −
3	D +
4	GND

7. セットアップ方法 (ペンエミュレーションインターフェイスの場合)

1. HERON（ヘロン）とインターフェイス ケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体後部の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)

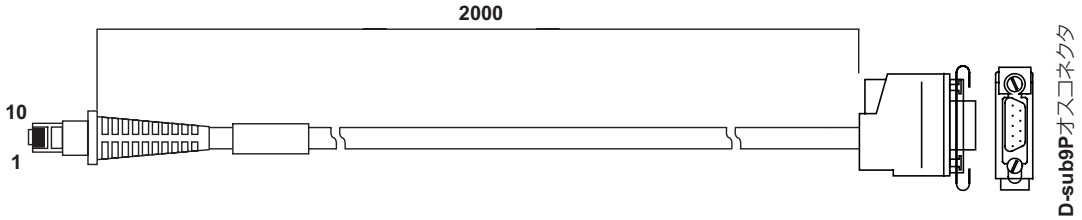


注意　コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルの出力側コネクタと接続機器のコネクタの形状・配線が正しくなっているか次頁ピンアサインを確認して、機器と接続します。

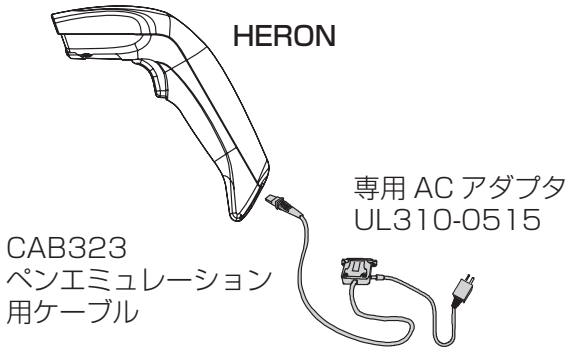
注意　必ず接続機器の電源を OFF にしてから、接続を行って下さい。

● CAB323



ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	VCC		電源供給
2	N.C.		未接続
3	N.C.		未接続
4	GND		シグナルグランド
5	N.C.		未接続
6	N.C.		未接続
7	DATA	出力	データ
8	N.C.		未接続
9	CABLE SHIELD		ケーブルシールド

3. 接続機器からスキャナへ電源供給がない場合や供給される電源容量が足りない場合には、スキャナの D-sub コネクタカバーにある、AC アダプタ用ジャックに別売の専用 AC アダプタ (UL310-0515) を接続します。



⚠注意

電源投入時に HERON（ヘロン）の低音ブザーが " ププププ " と 4 回鳴ることを確認して下さい。ブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は HERON（ヘロン）の動作に問題がありますので「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

4. 接続機器の電源を ON にして、以下のバーコードを読み取るとペンエミュレーションインターフェイスでの通信が可能となりますので、使用するインターフェイスに応じたパラメータをバーコードメニューシートのバーコードを使って設定を行って下さい。

⚠注意

初期設定値は「12. 初期設定について」の章を参照して下さい。また、設定変更する場合には、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を使用して下さい。

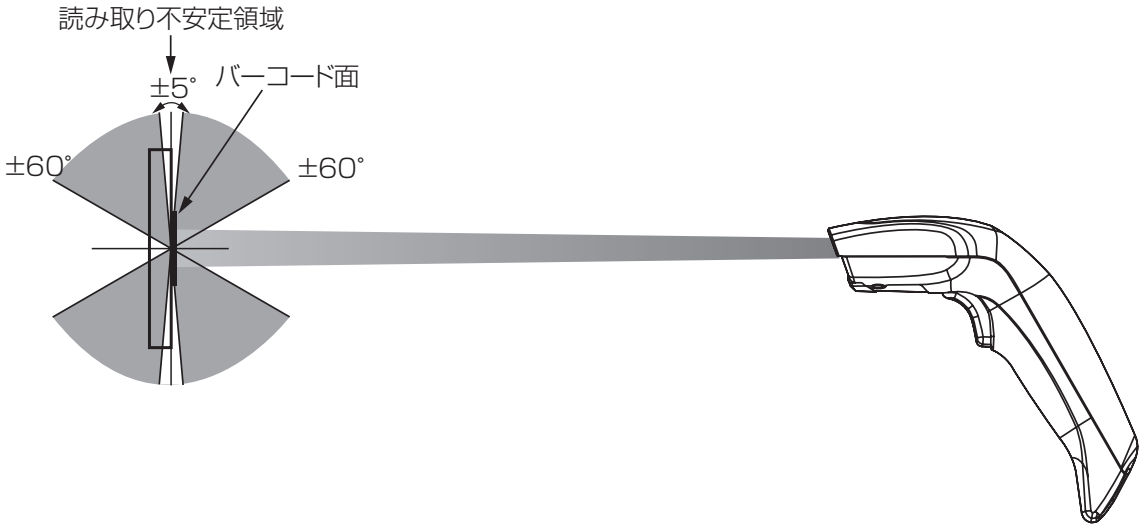
5. 接続機器の電源を ON にして、実際にバーコードの読み取りを行い、読み取りデータが正常に接続機器へ送信されるか確認をします。

⚠注意　正常に読み取りデータが送信されない場合は、「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

8. 読み取り操作方法

HERON（ヘロン）はトリガースイッチを押すことにより赤色 LED が点灯、または専用置台に取り付けた場合にはバーコードラベルを読み取り窓に近づけると自動的にバーコードをスキャンします。HERON（ヘロン）でバーコードを読み取る時は、図 1 の斜線部の様にバーコード面に対して、垂直線から± 5°～ 60°の角度で LED 光をバーコードに当てるのが理想的です。± 5°以下の範囲で LED 光をバーコードに当てた場合は、バーコードラベルからの直接反射により、読み取り性能が低下する場合があります。また、LED 光は図 2 の様にバーコードを垂直に横切るようにスキャンさせると安定した読み取りが可能となります。また、HERON（ヘロン）は図 3 の様にバーコードラベルとできる限り平行な角度で読み取りを行う様にして下さい。バーコードラベルから極端な角度を付けて読み取りを行うと、読み取りエリア内であっても読み取りができない場合もあります。

＜図 1 読み取り角度図＞



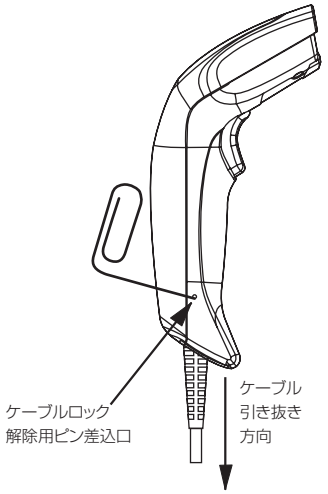
＜図 2 スキャンライン図＞

＜図 3 ピッチ角図＞

9. ケーブルの外し方について

HERON（ヘロン）のケーブルを外す場合には、右図の様にケーブルロック解除用ピン差込口にゼムクリップの先等を差し込んで、モジュラージャックのロックを解除しながら、ケーブルを引っぱると簡単に外れます。

1. ここにピンの先端を差込口に差し込んでモジュラージャックのロックを解除します。
2. ケーブルを矢印の方向に引っぱり、コネクタを外します。

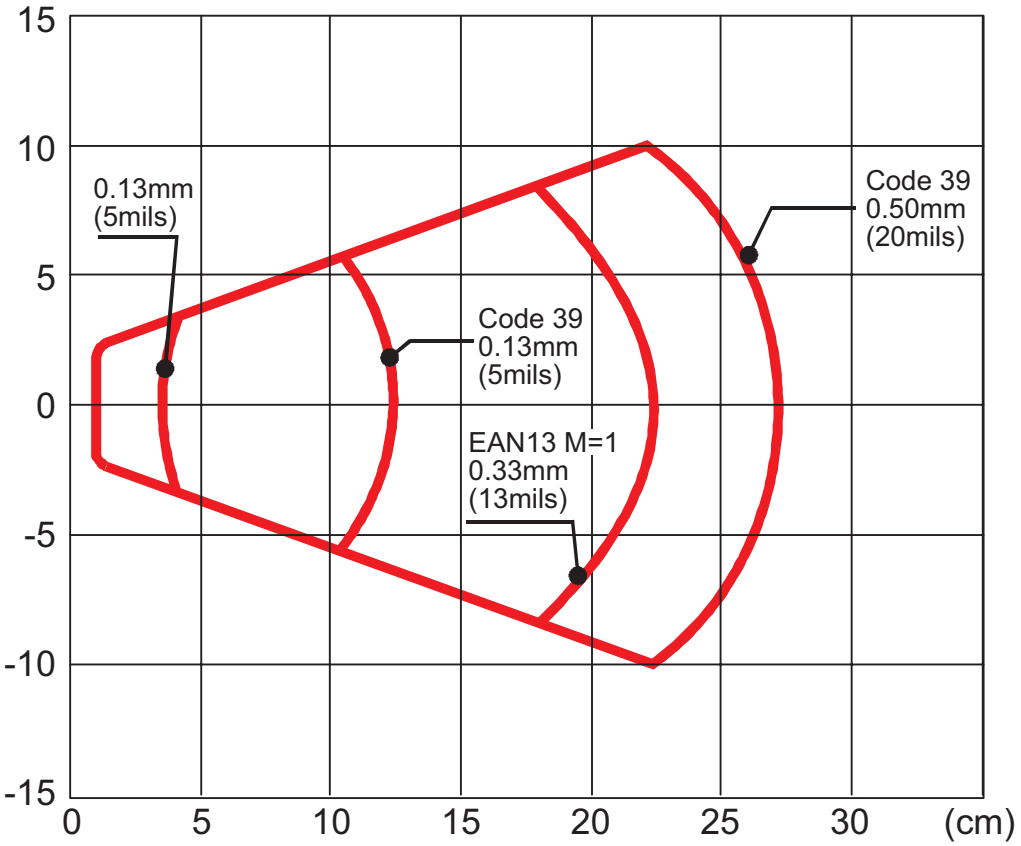


⚠注意

ケーブルを引っぱっても簡単にケーブルが外れない場合は、モジュラージャックのロックが完全に解除されていない可能性がありますので、再度ピン差込口からロック部の解除を行って下さい。無理な力でケーブルを引っぱって抜こうとすると、ケーブルの断線等の原因となりますので、ご注意願います。

10. 読み取りエリア図

HERON（ヘロン）はバーコードラベルの仕様によって読み取りが可能なエリアが異なります。この章ではバーコードラベルの仕様による読み取りエリア図を表記していますので、ご使用時にはこのエリア内で読み取りを行う様にして下さい。



11. LED とブザー音の表示について

HERON（ヘロン）は LED とブザー音にて、様々な動作状態を知らせます。
また、HERON（ヘロン）はパラメータ設定によりブザーの音量と音程を制御することが可能です。詳細は別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を参照して下さい。

動作時表示内容	(ブザー音)	HERON（ヘロン）の状態
電源 ON 時	ププププ	設定パラメータが正しく読み出しできました。
電源 ON 時	ピピピピ長いブザー音	設定パラメータの読み出しエラーが発生しました。
		EEPROM の読み書きエラーが発生しました。
電源 ON 時	ピプピプ	EEPROM のハードウェアエラーが発生しました。
パラメータ設定時	ピピピピ	設定が正しく書き込まれ、設定モードを終了します。
パラメータ設定時	プ	設定コマンドが正しく読み込みできました。
パラメータ設定時	プププ	設定コマンドが正しく読み込みできませんでした。
バーコード読み取り時 ON	1 度のブザー音	＊正しくバーコードの読み取りができました。
バーコード読み取り時 OFF	ブザー音無し	バーコードの読み取り準備ができました。
	ピプピプ	インターフェイスが選択されていません。
	ピプ	送信バッファがいっぱいです。

ピ : 高い音程のブザー音　プ : 低い音程のブザー音　　＊ : パラメータ設定により選択が可能です。

12. 初期設定について

HERON（ヘロン）の初期設定値は以下の通りです。もし、ご使用の条件にこの設定が合わない場合は、別冊「ハンドヘルドバーコードリーダバーコードメニューシート」を使って設定を変更して下さい。

初期設定用バーコード

項目	初期設定値
通信ボーレートの設定	9600bps
パリティの設定	無し
データビット長の設定	8 ビット
ストップビット長の設定	1 ビット
ハンドシェイクの設定	ノープロトコル (無手順)
ACK/NAK プロトコルの設定	無効
FIFO 機能の設定	有効
キャラクタ間ディレー時間	無効
受信タイムアウト時間	5sec
Caps Lock 機能の設定	Caps Lock OFF
コード間ディレー時間	無効
動作モードの設定	インタープレット
最小出力パルス時間の設定	600 μ s
CODE128 から CODE39 への変換機能の設定	無効
出力信号レベルの設定	ノーマル
アイドル信号レベルの設定	ノーマル
オーバーフローの設定	ミディアム
コード ID 付加機能の設定	無効
ヘッダーキャラクタの設定	ヘッダー無し
ターミネータキャラクタの設定	(ENTER) キーボードウエッジインターフェイス
	(CR/LF) RS232 インターフェイス
	(ENTER) USB インターフェイス

項目	初期設定値
読み取り用 LED/ レーザ出力制御機能の設定	制御機能を無効にする
スリープモードの設定	無効
トリガースイッチの設定	ハードウェアトリガーを使用
トリガースイッチの動作の設定	レベルモード
読み取りサイクルの設定	シングルリーディング
ブザー音量の設定	ブザー音量 (大)
ブザー音程の設定	ブザー音程 2
光源の ON 時間の設定	1sec
光源の OFF 時間の設定	0.6sec
オートオフタイマー時間の設定	無効
セーフティタイマー時間の設定	0.5sec
インク滲み読み取り機能の設定	有効
オーバーフローコントロール機能の設定	有効
キャラクタ間ギャップコントロール機能の設定	有効
EAN 8/EAN 13/UPC-A/UPC-E	読み取り許可 (アドオンコードは読み取り禁止)
EAN8/EAN13/UPC-A/UPC-E チェックデジット	送信許可
コード変換機能の設定	無効
CODE39 スタンダード	チェックデジット無しで読み取り許可
読み取り桁数の設定	フリー (01 から 32)
2 of 5 インターリーブ	チェックデジット有り , 送信有りで読み取り許可
読み取り桁数の設定	フリー (04 から 54)
CODE128	CODE128 の読み取り許可

13. トラブルシューティング

この章では、HERON（ヘロン）が正常に動作しない場合に、確認する事項について記載しています。もしこれらの事項の確認後、正常な動作をしない場合は、お手数ですが巻末の弊社営業担当窓口までお問い合わせをお願いします。

1. 電源を ON にしても動作しない。(トリガースイッチを押しても読み取り窓の赤い LED が点灯しない)

電源 ON 時に HERON（ヘロン）からブザー音が鳴らない。

● RS232 インターフェイス / ペンエミュレーションで使用の場合

⇒使用電源は HERON（ヘロン）の仕様に合っていますか？

◆電源の極性・電圧・容量を仕様に合わせて下さい。または PG5 を使用して下さい。

⇒通信ケーブルの外部電源用のソケットとプラグが完全に接続されていますか？

◆プラグを奥まで完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に HERON（ヘロン）に接続されていますか？

◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

●キーボードウエッジで使用の場合

⇒キーボードウエッジのケーブルはご使用のパソコンに対応していますか？

◆対応しているケーブルを使用して下さい。

⇒通信ケーブルのミニ DIN コネクタは全て PC 本体とキーボードに接続されていますか？

◆ミニ DIN コネクタを全て完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に HERON（ヘロン）に接続されていますか？

◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい

電源 ON 時に HERON（ヘロン）からブザー音が鳴っている。

⇒ " ププププ " と低音で 4 回鳴っている

◆ HERON（ヘロン）は正常に動作できます。

⇒ " ピピピピ " と高音で 4 回鳴っている

◆ HERON（ヘロン）の内部に問題があります。(修理が必要です。)

⇒長い音が鳴っている

◆ HERON（ヘロン）の内部に問題があります。(修理が必要です。)

⇒ " ピプピプ " とブザーが 4 回鳴っている

◆ HERON（ヘロン）の内部に問題があります。(修理が必要です。)

2. トリガースイッチを押さなくても赤色 LED 光が点灯する。

⇒ HERON（ヘロン）の設定がトリガースイッチを使用しない設定になっていませんか？

◆ HERON（ヘロン）の設定をトリガースイッチを使用する設定にして下さい。

⇒ HERON（ヘロン）が自動的に赤色 LED を点灯・消灯させる状態になっていませんか？

◆ HERON（ヘロン）のトリガースイッチを押したまま電源を ON にすると、
HERON（ヘロン）はテストモードに入り、自動的に LED 光の出力を制御してしまい、
トリガースイッチが使用できなくなりますので、その場合は一度電源を OFF にして、
トリガースイッチを押さない状態で再度、電源を ON にして下さい。

3. 赤色 LED 光は点灯しているがバーコード読み取りができない。

⇒読み取り距離や読み取り角度は HERON（ヘロン）の仕様の範囲内にありますか？

◆バーコードを HERON（ヘロン）の仕様の範囲内に移動させて下さい。

⇒ HERON（ヘロン）の設定でバーコードシンボルが正しく設定されていますか？

◆ HERON（ヘロン）の読み取りバーコードの設定を使用しているバーコードシンボルに
合わせて下さい。

⇒使用しているバーコードの品質に問題がありませんか？

◆バーコードの品質を改善して下さい。

4. 読み取ったバーコードデータが送信されない。

● RS232 インターフェイスで使用の場合

⇒インターフェイスのパラメータは接続機器の仕様に合っていますか？

◆ HERON（ヘロン）のパラメータを接続機器の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルの各信号線は接続機器の仕様に合っていますか？

◆接続機器の信号線を HERON（ヘロン）の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

●ペンエミュレーションで使用の場合

⇒ HERON（ヘロン）の出力信号が接続機器信号の仕様と合っていますか？

◆で使用の場合の出力信号を接続機器の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルの各信号線は接続機器の仕様に合っていますか？

◆接続機器の信号線を HERON（ヘロン）の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

●キーボードウエッジで使用の場合

⇒接続している PC のタイプと設定が合っていますか？

◆ HERON（ヘロン）の設定を PC のタイプに合わせて下さい。

⇒接続している PC のキーボードから入力できますか？

◆ PC 本体の電源を一度 OFF にしてから再度 ON にして下さい。

⇒データの送信速度が速すぎませんか？

◆別冊の「バーコードメニューシート」の「キャラクター間ディレー時間」の設定を変更して
ディレー (遅延) 時間を発生させて PC 側の処理時間に合わせて下さい。

5. 以上の処置を行った後でも、状況が変わらない。

何らかの故障の場合もありますので、お手数ですが巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

14. 保守

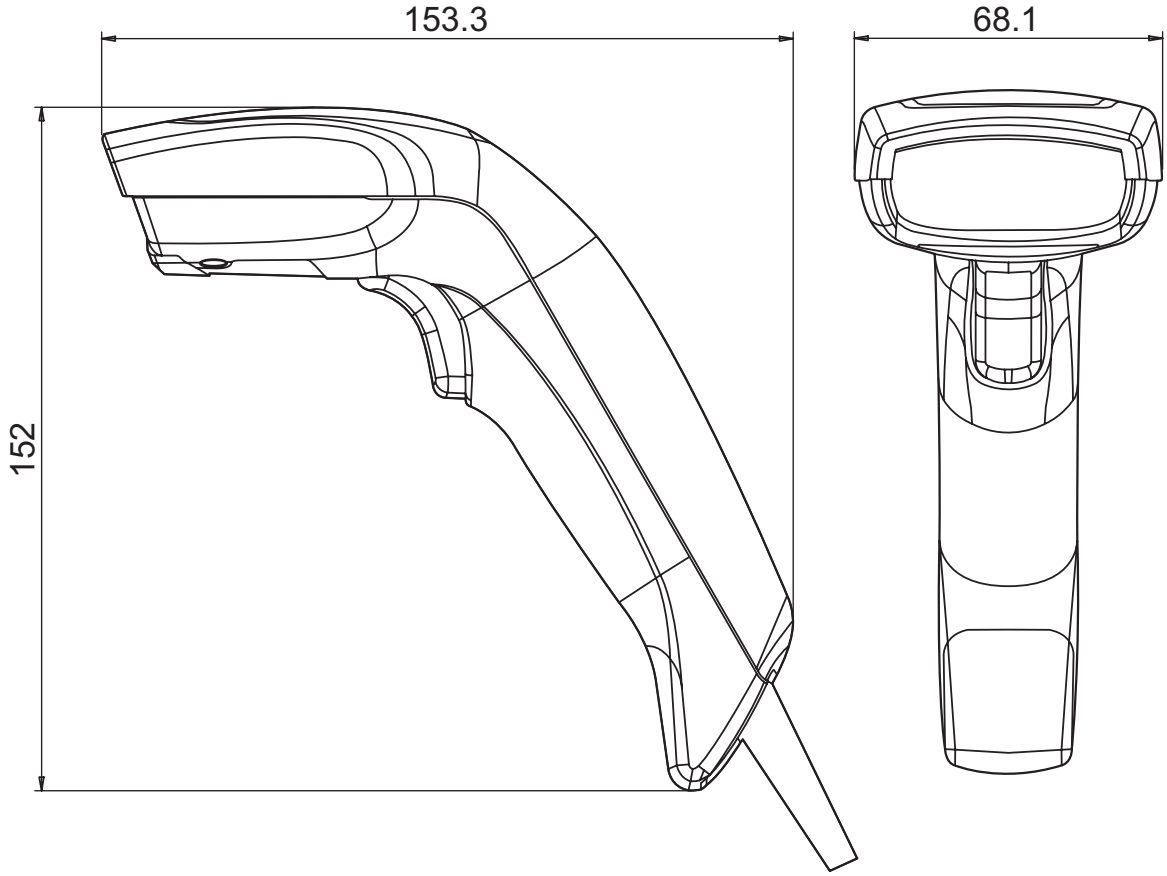
HERON（ヘロン）の読み取り窓が汚れている場合、読み取り性能が低下しますので、以下の方法にて清掃を行って下さい。

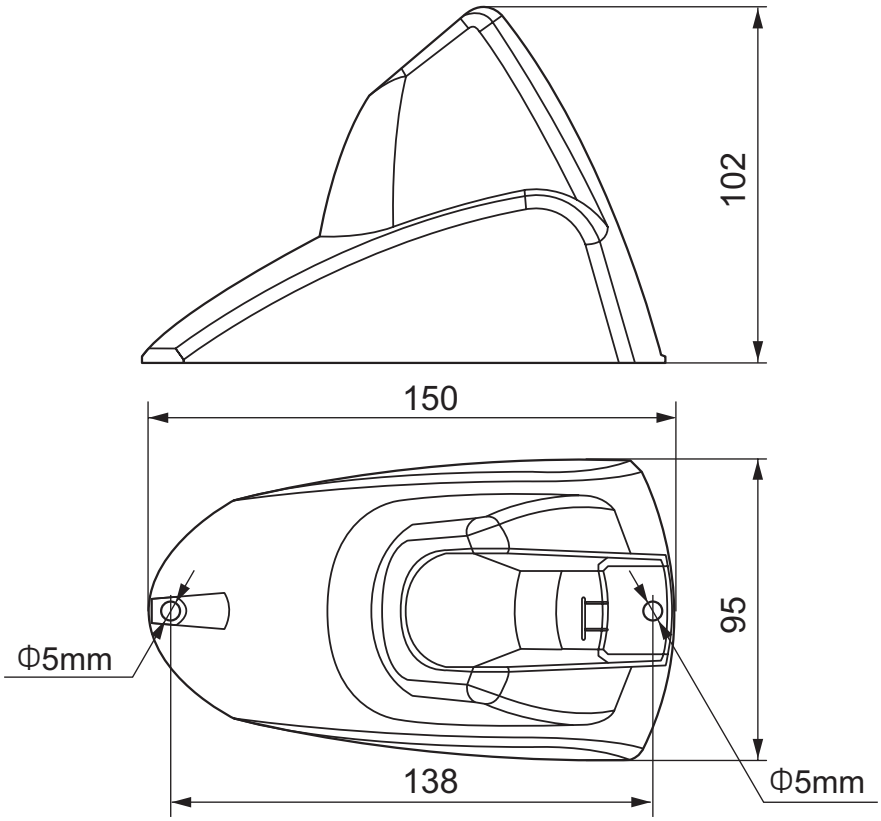
・水や無水アルコール等で湿らせた柔らかい布等で軽く汚れを拭き取って下さい。

15. 仕様

電源電圧	DC5V ± 5%
消費電流値	最大 180mA 通常 155mA
光源	赤色 LED
受光部	CCD センサ (2,048 ピクセル)
スキャン速度	最高 256 スキャン / 秒
読み取り距離	読み取りエリア図を参照
最小分解能	0.10mm (4mils)
最小 PCS 値	0.15(テストチャートでの読み取り)
動作表示	LED とブザー
読み取り可能なコード	ITF, Code11, Code39, Code93, Code128, EAN128, ISBT128, EAN/UPC, ISBN/ISSN, Codabar 等
パラメータ設定方法	バーコードメニューシートによる設定 RS232 ポートからコマンド送信による設定
動作温度	0 ℃～+ 55 ℃
保存温度	− 20 ℃～+ 70 ℃
湿度	90%(但し結露なきこと)
耐落下衝撃	1.8m の高さからコンクリート面への落下後、読み取りが可能
ESD 保護	16KV
保護構造	IP30
外形寸法 (本体のみ)	152 × 153.3 × 68.1mm
重量 (本体のみ)	約 160g

16. 外形寸法図





IDEC DATALOGIC 株式会社
本　社　大阪府大阪市淀川区西宮原 1-7-31　Phone 06-6398-3200　Fax 06-6398-3202
東　京　東京都港区港南 4-1-8 リバージュ品川 12 階　Phone 03-5715-2177　Fax 03-5715-2178
名古屋　名古屋市千種区今池 4-1-29 ニッセイ今池ビル　Phone 052-732-1561　Fax 052-732-1562
URL　http://www.idljp.com

No.0703